

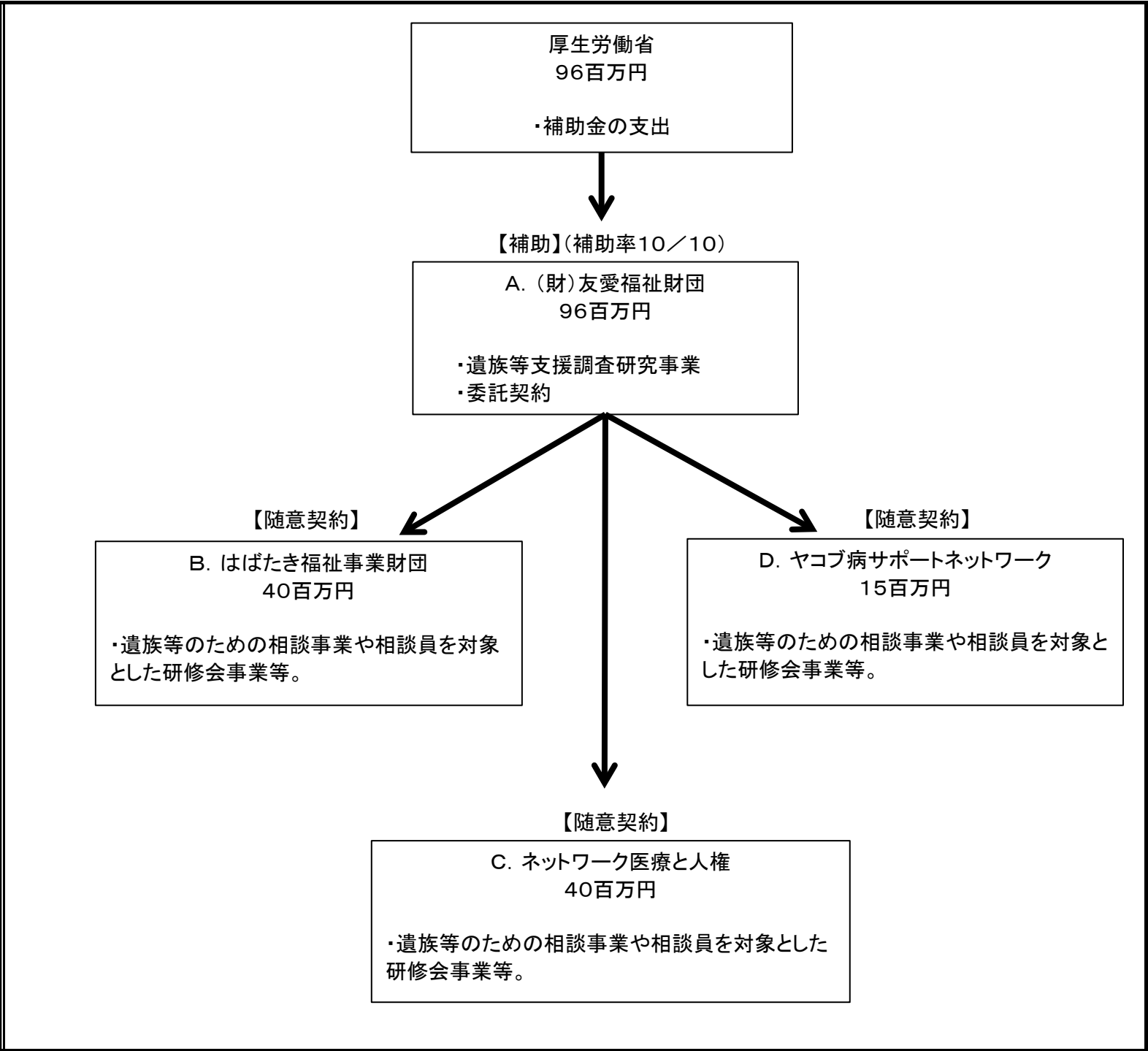
平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	エイズ患者遺族等相談事業		担当部局庁	医薬食品局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成9年度～		担当課室	総務課医薬品副作用被害対策室		室長 鳥井 陽一		
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-8 医薬品等の品質確保、安全対策を徹底する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	①エイズ患者遺族等相談事業 血液製剤によるHIV感染により家族を亡くした遺族等への相談等事業を行うことにより、遺族等の精神的な苦痛の緩和を図る。 ②ヤコブ病サポートネットワーク事業 ヒト乾燥硬膜の移植によりクロイツフェルト・ヤコブ病を発症し家族を亡くした遺族等への相談を行うことにより、遺族等の精神的な苦痛の緩和を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①エイズ患者遺族等相談事業(補助率10/10) 血液製剤によるHIV感染により家族を亡くした遺族等のための相談や相談員を対象とした研修会等を行う。 ②ヤコブ病サポートネットワーク事業(補助率10/10) ヒト乾燥硬膜の移植によりクロイツフェルト・ヤコブ病を発症し家族を亡くした遺族等のための相談や相談員を対象とした研修会等を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	94	96	96	112	115	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	94	96	96	112	115	
		執行額	94	96	96			
	執行率(%)	100%	100%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	裁判上の和解等に基づき遺族等に対して必要な支援を行い、精神的な苦痛の緩和を図るものであるため、成果目標及び成果実績の策定には馴染まない。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	裁判上の和解等に基づき遺族等に対して必要な支援を行い、精神的な苦痛の緩和を図るものであるため、活動指標及び活動実績の策定には馴染まない。		活動実績 (当初見込み)		( — )	( — )	( — )	( — )
単位当たりコスト	—		算出根拠	—				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	エイズ患者遺族等相談事業	97	100	相談事業において、医療知識のある専門家相談員を配置するための経費計上による増。				
	ヤコブ病サポートネットワーク事業	15	15					
計	112	115						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	裁判上の和解等に基づき遺族等に対して必要な支援を行うものであるため、広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	裁判上の和解等に基づき遺族等に対して必要な支援を行うものであるため、国が実施すべき事業である。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	HIVやヤコブ病による被害者に関して、精通している相手方を選定しており、支出先の選定は妥当である。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	—
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	裁判上の和解や大臣協議を踏まえ、国庫補助率は10/10に設定している。
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	本事業は、当省が運営要綱、運営細則を定め、それに基づいて行っており、中間段階での支出は、必要最小限のものに限定されており、支出は合理的。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	本事業は、当省が運営要綱、運営細則を定め、それに基づいて行っており、費目・使途は真に必要な経費に限定されている。
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	—
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	—
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	—
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	—
点検結果	<p>①エイズ患者遺族等相談事業 HIV訴訟原告団と大臣の協議(平成8年9月)を踏まえ、実施している事業であり、国費支出の削減は困難である。</p> <p>②ヤコブ病サポートネットワーク事業 平成14年3月の裁判上の和解を踏まえ、実施している事業であり、国費支出の削減は困難である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業は、HIV訴訟等の和解に伴い、国の責務として実施している事業であり、見直しの余地はないものと思慮されるところ、執行実態を精査のうえ、引き続き適切な予算措置とすること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—	—		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	208	平成23年行政事業レビュー	185

資金の流れ  
 (資金の受け取り先が何を  
 行っているかについて補  
 足する) (単  
 位: 百万円)



費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A. (財)友愛福祉財団			C. ネットワーク医療と人権		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託	はばたき福祉事業団 (遺族等のための相談事業や相談員を対象とした研修会事業等)	40	謝金	相談員、事務補助員、情報職員、専門家相談員謝金	15
外部委託	ネットワーク医療と人権 (遺族等のための相談事業や相談員を対象とした研修会事業等)	40	借料及び損料	事務所借料、会場費、コピー機リース料等	8
外部委託	ヤコブ病サポートネットワーク (遺族等のための相談事業や相談員を対象とした研修会事業等)	15	委員等旅費	相談員、事務補助員、情報職員、専門家相談員交通費	10
調査研究費	謝金、委員等旅費、通信運搬費、消耗品費	1	事務費	消耗品費、通信運搬費、雑役務費等	7
計		96	計		40
B. はばたき福祉事業団			D. ヤコブ病サポートネットワーク		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
謝金	相談員、事務補助員、専門相談家員謝金	14	謝金	相談員、専門家相談員、講師謝金	7
借料及び損料	事務所借料、会場費、コピー機リース料等	12	委員等旅費	相談員、専門家相談員、講師交通費	4
委員等旅費	相談員、事務補助員、専門家相談員交通費	4	事務費	消耗品費、通信運搬費、雑役務費等	4
事務費	消耗品費、通信運搬費、雑役務費等	10			
計		40	計		15

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)友愛福祉財団	・血液製剤によるHIV感染により家族を亡くした遺族等のための相談事業 や相談員を対象とした研修会事業 ・ヒト乾燥硬膜の移植によりクロイツフェルト・ヤコブ病を発症し家族を亡くした遺族等のための相談事業や相談員を対象とした研修会事業 ・遺族等支援調査研究業務	96		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	はばたき福祉事業団	遺族等のための相談事業や相談員を対象とした研修会事業	40	随意契約	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ネットワーク医療と人権	遺族等のための相談事業や相談員を対象とした研修会事業	40	随意契約	

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ヤコブ病サポートネットワーク	遺族等のための相談事業や相談員を対象とした研修会事業	15	随意契約	